

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「知識・技能」について、基本的な読み・書きは習得できている。リスニングは、ALT とのやりとりでは問題ないが、試験においては聞いて理解することが難しい場合もある。
- ・「思考・判断・表現」については、全ての領域・問題において、区の平均値を上回っている。
- ・コミュニケーションを取ろうとする意欲が大変高く、既習事項を生かそうとする児童も見られる。

(2) 課題

- ・アルファベット（大文字・小文字）を書くことに慣れていない児童がいる。
- ・相手意識を持って積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲に差がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードは単語が書かれたものを使い、自然と文字に慣れる環境を作る。 ・相手の目を見て、笑顔で伝えることを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたくなる活動や、伝わって嬉しいと感じられる活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に抵抗感なく親しめるように、チャンツや歌、アクティビティを工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、アルファベットや簡単な英単語を書く練習の時間を設ける。 ・場面に合ったコミュニケーションをとるために必要な語彙を例示しながら活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える必要感のある活動や、伝わって嬉しいと感じられる活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に抵抗感なく親しめるように、チャンツや歌、アクティビティを工夫する。 ・ALT と連携して、事前の発表練習を行ったりしながら、楽しく安心して活動できる環境を作る。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、アルファベットや簡単な英単語を書く練習の時間を設ける。 ・場面に合ったコミュニケーションをとるために、どのような語彙が使えるか出し合ったり、リアクションに使うジェスチャーや語彙の手本を示したりしながら、活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える必要感のある活動や、伝えることの有用感が得られる活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして表現することを親しめるように、アクティビティを工夫する。 ・ALT との対話や発表会などを行い、児童が自らの力を発揮する機会を作る。